抱打掛之事

膝元

箇持出掛之事

一箇持候右之方之鼻を引

たゝき候て箇の中程を持たゝき少掛

膝元を捷出之へ

箇之掛之事

一たゝき膝須通之呼捨前之之事

刎掛之事

一たゝき呼之三角の如き端出有り膝を宛之

呼のくらを受膝を前に張出編刎

掛をもつて自當したゝき之の如きを

右の脇の付根際之方へ向を立之

膝元掛掛之事

一箇を箇の上に試合員を下に掛員為

脇へ掛ける

一 縄を筒の内へ掛け結び目を下に掛ける

小掛ける時は結ぶ

竹縄掛ける

一 竹を束ねたる指を挟み竹縄掛ける

中たり竹縄長さ二尺七寸巻可

掛へ共竹挟み挟み時竹を曲ぬ位も

可出也

古布

一 布を解き巡る布の高物を

尺寸巻巡る布へ納先掛物して歩

口結

竹蓋切掛る度

一 筒を切り勝手波筒口を先の高物

若尾勝手の位を解竹蓋切

紙巻切る度

一 紙を張り左手表に先右の口を開

先に左手に持て紙筒の口を巡

結を切る

付ける度

一 口結を通り紙巻切る位を元に巡

法を立る事

付ケ事

一口銭を通し先第一を法を立て其
ところ〻に付て法を設ける

同付ケ事

一同番の内〻同苗真弟〻ても
苗物を取〻ところ〻に銭

引〻事

一引取口銭

留〻事

一ひかれたる者ならば其苗
金子銭に成る者物を出豆の不存勝の
上通を為新物取扱すなり

苗仕事物事

一折中に苗を売番の内〻滝を立て
出蓋を殺勝負を定だし左〻少物に扱こ
持出る時の通り持事

立教

苗持出物事

苗立物事

二ケ条勝負と同

勝負立物事

二ケ条 膝蓋と同

膝を抑る度

一右膝を引く仰先を左の膝を上げ
編仰に成り體を乗り波うち左の足も仰
先を立てたり

膝を抑る度

片絡抑る度

二ケ条 膝蓋と同

寺海る度

一遠山に月を見る心地

片蓋切抑る度

一筋を膝に上げ筋先を高物に差し片蓋切る

しめあげる度

一膝の上にて先を胸に付る一ん

合抑 膝蓋と同

別抑る度

一右の通り先を胸に付る上り対を

一足を揃え左の足を踏出し右の足を踏張る

左の足を前に踏出し編仰に成り切る

足踏を十文字の如

付ケ寄る度

分ケ事

一荷物ハ荷主ヨリ掛分ケ申事

自然ト分ケ事

勝手ニ分ケ事

引ク事

一引ハ一日一ツ時ニ幾ツニ成

幾ツ事

一折角事

荷主事相談事

勝手ニ分ケ事

三ツ丸ニ分ケ事

一左右ニ分ケ類ニ分ケ事

三組ニ分ケ位ノ事

一吉凶ノ位

一勝手ニ分ケ位

一分ケ方位

仰ニ曲ル事

一先ノ目当ト成シ星ノ代先ト右ノ勝ノ

分根ヲ無ク三方ヲ見ウ初ト歩ク

い事ハ方ル

分根を無ふく三方共、うねを無て
いきれ有べし

高麗かたかしに植る事

一たゝ[illegible]を右に踏通て植る

同玉込こと

一玉一ぱいそこざと分角中ゝ[illegible]
出す様子成込有べし

下か上に植る事

一勝手にて角而を植ゝ[illegible]
仰積り植たりひちを上ゝひく
何程も上を植中ゝ[illegible]ひぢを
上ゝ[illegible]のゝ積ゝ[illegible]

多度の物植事

一三角箇ならば箇中に植込の[illegible]
高さ三角のまゝと分ケ苗を込其上に長紙
と一枚ゝみ入れの込を込て角の
所に込をのぬけ出る様に植ゝ[illegible]
かゝて植込をのさゝ分中ゝ寸長
[illegible]

かしら共へ出来のさき分申さす義
長くまとめ

一拾貫筋之三貫筋の割下地長紙
勘校出来

右之趣雖私事堂々
願申而御聞合和談之上

富山利兵衛

安政二年
乙卯八月吉日

信存

安政二年
乙卯八月吉日

信存

岩越牟三郎殿

岩越半三郎殿

萩野流種々鳴抱方様之巻

特別
ケ5
862
8

37-2250